

# 紀南教会瓦版

発行所  
紀南キリスト教会  
紀南教会瓦版  
編集委員会  
和歌山県田辺市  
下屋敷町80  
TEL/FAX  
0739-25-1191



九州が梅雨に入ったとニュースで聞きました。又、暫くは雨の日が多くなります。体調を崩さないように気を付けましょう。

東日本大震災で被災された方々が、心安く生活を送れる日が来ますように、心を合わせて祈りましょう。

神には栄え、地には平和を！

編集員一同

現在、私は街から少し離れた、グループホームでお世話になっております。此のホームを終の棲家と決めて入所してから、一〇月が来ると三年になります。

19??年、主人の仕事で旧朝鮮(現・韓国)に渡りました。第二次世界大戦が勃発、出征する主人を朝鮮の駅で見送ったのが永久の別れになりました。そして終戦を迎え、子供達と共に、命からがら日本に帰ってきました。それから悲喜交々の生活を送り、

## ヨックリと

田辺の地に来たのが今から約四三年前、一番目の孫が生まれたのを機に娘夫婦と暮らすようになりまして、「クリスチャンには絶対にならない」という条件で来たのですが、神様の愛と救いが迫り、約四〇年程に受洗しました。

その後、教会に来た高校生達が「おばあちゃん、おばあちゃん」と親しんでくれるようになった。いつか、このように、当たり前のように生活していた。そんな彼らを恐ろしい災害は突如として襲った。いつで

3・11、当たり前の日常生活が突如として中断された。数え切れない人が一瞬のうちに家も、家族も無くし、そして日常を失った。これと同じようなことが6年半前、インドネシアであった。このスマトラ島沖地震は、死者、行方不明者23万人。また、新約聖書の時代、ベスビオス火山の大爆発で、一瞬のうちにポンベイの町は廃墟と化した。近年発掘され、その生活振りが明らかにされた。彼らは

も災害は突如として起き、誰彼となく、無差別で襲う。それが身近であればあるほど、私たちは何故かという思いを強く抱く。何故、自分

て、毎週カレーを作り、皆で食べながら賑やかに楽しい時間を過ごしました。叱つたり、驚かされたり、喜んだりの日々が、忘れられない懐かしい思い出です。

今はこの子達はクリスチャンホームを築き、信仰の道を歩んでいます。

そして三年前、これから緩やかな時間を送ろうと思いい、グループホームでお

この内には景色は見えませんが、朝、起きて窓を開け、今日の空気を一杯吸い込みます。実に気持ちが良いです。ヨックリ朝食をすませ、ラジオを聞きます。

その内に職員さんが掃除に来て下さいます。時間を取らない程度にお話をします。そして又ラジオを聞きながらヨックリしていると、そろそろ昼食の時間です。食堂まで歩行器でヨックリ行きます。食事の時、皆さんと一緒に食べるのが気に入っています。以

ついで次のように言っています。「シロアムの塔が倒れて死んだあの十八人は、エルサレムに住んでいたほかに、

たが、このような目に遭わなければならぬのか、何も悪いことはしていないのに。何故、こんな悲惨な

災害が起こったのか。神がおられるなら何故、罪のない人々がこんなに多く、犠牲にならねばならぬのか。キリストは災害に

のどの人々よりも、罪深い者だったと思うのか。決してそうではない。言っておくが、あなたがたも悔い改めなければ、皆同じように

前、体調を崩し自室に食事を運んで貰って一人で食べたことがありません。実に味気なかつたです。皆さんとは挨拶する程度でお話はいませんが、それでも皆で一緒に食事をすることは良いことだと思えました。トイレに行く時も往復三〇分近くかかります。食事の時の歩行とトイレの時の歩行はとも良いリハビリになっています。何でもヨックリです。ヨックリが良いです。私に与えられている人生の日数は分かりませんが、ヨックリ・ヨックリ時間と日を重ねて行けたらと思っています。我が身を振り返り、全てが神のご計画の下、御手の中の出来事と感謝しています。

種時き

経済成長や科学の進歩によって、どんどん便利な世の中になっていきます。でも、便利さと引き替えに様々な弊害が生まれていて、それが、私たちの体を蝕む要因のひとつにもなっています。ガン、糖尿病、心臓病などの病気、そして、アレルギー、アトピー etc.

要因を特定することはできませんが、排気ガスなど公害のほか、食品や洗剤、抗菌剤や防虫剤、園芸用肥料、住宅建材などに含まれる合成添加物や化学物質などが関係する場合もあるようです。

食べ物、体の健康だけでなく、精神面や性格形成にも深い影響があるそうです。

最近言われている「キレる子供」も、食事が原因という説があり、私もそんな気がしています。

たとえば加工食品ですが、カップラーメンなどのインスタント食品でなくて、温めればすぐに食べられる冷凍食品、レトルト食品など、様々な加工品が沢山売られています。ラベルに書いてある表示を見てみると、素材名のほかに、着色料、酸味料、保存料、甘味料、香料、酸化防止剤など、さまざまな添加物が書かれているものが多いと思います。

この度の震災の放射能漏れ事故で、ただちに健康に影響を及ぼす心配はない」といわれています。

そのため、つい油断しがちなのですが、認可されている添加物のなかにも、発がん性を疑ったほうがよいものがあるようです。

人間が開発した便利なものには、(必ずしもそうではないと思いますが)何かしらの副作用がある気がします。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。こはんとできるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。ね。

自然の恵み、大地の恵みは、神様の恵みだと思えます。体に入れるのは、できるだけ自然のものにしたいものです。

素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、...、そんな気がするので。つくし

## 『大震災は何故』

紀南教会牧師 上山耕司



滅びる。(ルカによる福音書13章4、5節)今から1500年ほど前、イギリスの牧師で、名説教家であったスボルジョンは、当時ロンドンで相次いで起きた二つの痛ましい鉄道事故で多くの犠牲者が出たことに関して、このキリストの言葉に根拠に、説教で次のように言及している。「さて、兄弟たち、こつした事からは、世界のいかなる時代にも常に起こってきたことである。これを新奇なことと考

えてはならない。一部の人間のように、これが疲弊した文明の産物であるとか、現代の最も驚くべき発見である蒸気の産物であると夢見てはならない。たとい蒸気機関が全く知られることなく、鉄道など全く敷設されていなかったとしても、突然の死や、恐ろしい事故は、何ら変わらず起こり続けたであろう。もしも、ある災難が常に何らかの罪の結果だとしたら、摂理は、二足す二が四というのと同

じくくらい単純なものとなるであろう。しかし聖書の教えによると、摂理は深い海であって、人間の知性はそこで泳いだり潜ったりすることはできません。決してその底をつきとめたり、その果てまで行き着くことはできません。私たちが自分に投げかけなくてはならない、最初の問いかけは、こうである。なぜ私も、近いうちに突然断ち切られることがないか云い切れるだろうか? 私たちも災害を

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆って余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。



次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに...

# 紀南教会瓦版

発行所  
紀南キリスト教会  
紀南教会瓦版  
編集委員会  
和歌山県田辺市  
下屋敷町80  
TEL/FAX  
0739-25-1191



九州が梅雨に入ったとニュースで聞きました。又、暫くは雨の日が多くなります。体調を崩さないように気を付けましょう。

東日本大震災で被災された方々が、心安く生活が送れる日が来ますように、心を合わせて祈りましょう。神には栄え、地には平和を！ 編集員一同

現在、私は街から少し離れた、グループホームでお世話になっております。此のホームを終の棲家と決めて入所してから、一〇月が来ると三年になります。

1977年、主人の仕事で旧朝鮮(現・韓国)に渡りました。第二次世界大戦が勃発、出征する主人を朝鮮の駅で見送ったのが永久の別れになりました。そして終戦を迎え、子供達と共に、命からがら日本に帰ってきました。それから悲喜交々の生活を送り、

3・11、当たり前の日常生活が突如として中断された。数え切れない人が一瞬のうちに家も、家族も無くし、そして日常を失った。これと同じようなことが6年半前、インドネシアであった。このスマトラ島沖地震は、死者、行方不明者23万人。また、新約聖書の時代、ベスビオス火山の大爆発で、一瞬のうちにポンペイの町は廃墟と化した。近年発掘され、その生活振りが明らかにされた。彼らは

て、毎週カレーを作り、皆で食べながら賑やかに楽しい時間を過ごしました。叱つたり、驚かされたり、喜んだりの日々が、忘れられない懐かしい思い出です。今はこの子達はクリスマスチャームホームを築き、信仰の道を歩んでいます。そして三年前、これから緩やかな時間を送ろうと思ひ、グループホームでお

田辺の地に来たのが今から約四三年前、一番目の孫が生まれたのを機に娘夫婦と暮らすようになりまして、「クリスマスちゃんには絶対にならない」という条件で来たのですが、神様の愛と救いが迫り、約四〇年程に受洗しました。

その後、教会に来た高校生達が「おばあちゃん、おばあちゃん」と親しんでくれる。牧師先生、四〇年来

いつものように、当たり前の生活に生活していた。そんな彼らを恐ろしい災害は突如として襲った。いつで

## ユックリと

世話になることを決心しました。「一人で淋しくないですか？」とよく聞かれます。いいえ、淋しくありませんよ。仕事の合間を見て家族が来てくれます。月に一度、牧師先生、四〇年来

たちが、このような目に遭わなければならぬのか、何もしないことにはしていない。何故、こんな悲惨な

## 『大震災は何故』

紀南教会牧師 上山耕司

も災害は突如として起き、誰彼となく、無差別で襲う。それが身近であればあるほど、私たちは何故かという思いを強く抱く。何故、自分

災害が起こったのか。神がおられるなら何故、罪のない人々がこんなにも多く、犠牲にならねばならぬのか。キリストは災害に

のどの人々よりも、罪深い者だったと思うのか。決してそうではない。言っておくが、あなたがたも悔い改めなければ、皆同じように

経済成長や科学の進歩によって、どんどん便利な世の中になっていきます。でも、便利さと引き替えに様々な弊害が生まれていて、それが、私たちの体を蝕む要因のひとつにもなっています。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。これは、できるだけ農薬や肥料を使っていないものに、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬け物(無添加)などです。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに・・・。



減じる。(ルカによる福音書13章4、5節)今から150年ほど前、イギリスの牧師で、名説教家であったスボルジョンは、当時ロンドンで相次いで起きた二つの痛ましい鉄道事故で多くの犠牲者が出たことに関して、このキリストの言葉

を根拠に、説教で次のように言及している。「さて、兄弟たち。こつした事からは、世界のいかなる時代にも常に起こってきたことである。これを新奇なことと考



## 今、気をつけたいこと

この度の震災の放射能漏れ事故で、ただちに健康に影響を及ぼす心配はない」といわれています。そのため、つい油断しがちなのですが、認可されている添加物のなかにも、発がん性を疑ったほうがよいものがあるようです。人間が開発した便利なものには、(必ずしもそうではないと思いますが)何かしらの副作用がある気がします。

前記して、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆って余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

# 紀南教会瓦版

発行所  
紀南キリスト教会  
紀南教会瓦版  
編集委員会  
和歌山県田辺市  
下屋敷町80  
TEL/FAX  
0739-25-1191



九州が梅雨に入ったとニュースで聞きました。又、暫くは雨の日が多くなります。体調を崩さないように気を付けましょう。

東日本大震災で被災された方々が、心安く生活が送れる日が来ますように、心を合わせて祈りましょう。

神には栄え、地には平和を！  
編集員一同

現在、私は街から少し離れた、グループホームでお世話になっております。此のホームを終の棲家と決めて入所してから、一〇月が来ると三年になります。

19??年、主人の仕事で旧朝鮮(現・韓国)に渡りました。第二次世界大戦が勃発、出征する主人を朝鮮の駅で見送ったのが永久の別れになりました。そして終戦を迎え、子供達と共に、命からがら日本に帰ってきました。それから悲喜交々の生活を送り、

## ヨックリと

田辺の地に来たのが今から約四三年前、一番目の孫が生まれたのを機に娘夫婦と暮らすようになりまして、「クリスチャンには絶対にならない」という条件で来たのですが、神様の愛と救いが迫り、約四〇年程に受洗しました。

その後、教会に来た高校生達が「おばあちゃん、おばあちゃん」と親しんでくれるようになった。いつか

世話になることを決心しました。「一人で淋しくないですか?」とよく聞かれます。いいえ、淋しくありませんよ。仕事の合間を見て家族が来てくれます。月に一度、牧師先生、四〇年来の友人が来てくれます。月に一度、牧師先生、四〇年来の友人が来てくれます。月に一度、牧師先生、四〇年来の友人が来てくれます。

3・11、当たり前の日常生活が突如として中断された。数え切れない人が一瞬のうちに家も、家族も無くし、そして日常を失った。これと同じようなことが6年半前、インドネシアであった。このスマトラ島沖地震は、死者、行方不明者23万人。また、新約聖書の時代、ベスビオス火山の大爆発で、一瞬のうちにポンベの町は廃墟と化した。近年発掘され、その生活振りが明らかにされた。彼らは

も災害は突如として起き、誰彼となく、無差別で襲う。それが身近であればあるほど、私たちは何故かという思いを強く抱く。何故、自分

## 『大震災は何故』

紀南教会牧師 上山耕司

災害が起こったのか。神がおられるなら何故、罪のない人々がこんなにも多く犠牲にならねばならなかったのか。キリストは災害に

前、体調を崩し自室に食事を運んで貰って一人で食べたことがありません。実に味気なかつたです。皆さんとは挨拶する程度でお話はしません。それでも皆で一緒に食事をすることは良いことだと思えました。トイレに行く時も往復三〇分近くかかります。食事の時の歩行とトイレの時の歩行はとも良いリハビリになっています。何でもヨックリです。ヨックリが良いです。私に与えられている人生の日数は分かりませんが、ヨックリ・ヨックリ時間と日を重ねて行けたらと思っています。我が身を振り返り、全てが神のご計画の下、御手の中の出発と感謝しています。



種時き

減じる。(ルカによる福音書13章4、5節)今から150年ほど前、イギリスの牧師で、名説教家であったスボルジョンは、当時ロンドンで相次いで起きた二つの痛ましい鉄道事故で多くの犠牲者が出たことに関して、このキリストの言葉に根拠に、説教で次のように言及している。「さて、兄弟たち。こつした事からは、世界のいかなる時代にも常に起こってきたことである。これを新奇なことと考

経済成長や科学の進歩によって、どんどん便利な世の中になっていきます。でも、便利さと引き替えに様々な弊害が生まれていて、それが、私たちの体を蝕む要因のひとつにもなっています。ガン、糖尿病、心臓病などの病気、そして、アレルギー、アトピー etc.

要因を特定することはできませんが、排気ガスなど公害のほか、食品や洗剤、抗菌剤や防虫剤、園芸用肥料、住宅建材などに含まれる合成添加物や化学物質などが関係する場合もあるようです。

食べ物、体の健康だけでなく、精神面や性格形成にも深いつながりがあるそうです。

最近言われている「キレる子供」も、食事が原因という説があり、私もそんな気がしています。

たとえば加工食品ですが、カップラーメンなどのインスタント食品でなくて、温めればすぐに食べら

## 今、気をつけたいこと

る冷凍食品、レトルト食品など、様々な加工品が沢山売られています。ラベルに書いてある表示を見てみると、素材名のほかに、着色料、酸味料、保存料、甘味料、香料、酸化防止剤など、さまざまな添加物が書かれているものが多いと思います。

この度の震災の放射能漏れ事故で、ただちに健康に影響を及ぼす心配はない」といわれています。

そのため、つい油断しがちなのですが、認可されている添加物のなかにも、発がん性を疑ったほうがよいものがあるようです。

人間が開発した便利なものには、(必ずしもそうではないと思いますが)何かしらの副作用がある気がします。

じくらしい単純なものとなるであろう。しかし聖書の教えによると、摂理は深い海であって、人間の知性はそこで泳いだり潜ったりすることはできません。決してその底をつきとめたり、その果てまで行き着くことはできません。私たちが自分に投げかけなくてはならない、最初の問いかけは、こうである。なぜ私も、近いうちに突然断ち切られることがないか云い切れるだろうか? 私たちも災害を



つくし

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。こはんできるだけ農薬や肥料を使っていないものに、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬け物(無添加)などですね。

自然の恵み、大地の恵みは、神様の恵みだと思えます。体に入れるのは、できるだけ自然のものにしたいものです。

素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、そんな気がします。

前回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに・・・。

# 紀南教会瓦版

発行所  
紀南キリスト教会  
紀南教会瓦版  
編集委員会  
和歌山県田辺市  
下屋敷町80  
TEL/FAX  
0739-25-1191



九州が梅雨に入ったとニュースで聞きました。又、暫くは雨の日が多くなります。体調を崩さないように気を付けましょう。

東日本大震災で被災された方々が、心安く生活を送れる日が来ますように、心を合わせて祈りましょう。神には栄え、地には平和を！ 編集員一同

現在、私は街から少し離れた、グループホームでお世話になっております。此のホームを終の棲家と決めて入所してから、一〇月が来ると三年になります。

1977年、主人の仕事で旧朝鮮(現・韓国)に渡りました。第二次世界大戦が勃発、出征する主人を朝鮮の駅で見送ったのが永久の別れになりました。そして終戦を迎え、子供達と共に、命からがら日本に帰ってきました。それから悲喜交々の生活を送り、

3・11、当たり前の日常生活が突如として中断された。数え切れない人が一瞬のうちに家も、家族も無くし、そして日常を失った。これと同じようなことが6年半前、インドネシアであった。このスマトラ島沖地震は、死者、行方不明者23万人。また、新約聖書の時代、ベスビオス火山の大爆発で、一瞬のうちにポンペイの町は廃墟と化した。近年発掘され、その生活振りが明らかにされた。彼らは

前、体調を崩し自室に食事を運んで貰って一人で食べたことがありません。実に味気なかつたです。皆さんとは挨拶する程度でお話はしませんが、それでも皆で一緒に食事をすることは良いことだと思いました。トイレに行く時も往復三〇分近くかかります。食事の時の歩行とトイレの時の歩行はとも良いリハビリになっています。何でもユックリです。ユックリが良いです。私に与えられている人生の日数は分かりませんが、ユックリ・ユックリ時間と日を重ねて行けたらと思っています。我が身を振り返り、全てが神のご計画の下、御手の中の出発と感謝しています。

経済成長や科学の進歩によって、どんどん便利な世の中になっています。でも、便利さと引き替えに様々な弊害が生まれていて、それが、私たちの体を蝕む要因のひとつにもなっています。ガン、糖尿病、心臓病などの病気、そして、アレルギー、アトピー etc.

れる冷凍食品、レトルト食品など、様々な加工品が沢山売られています。ラベルに書いてある表示を見てみると、素材名のほかに、着色料、酸味料、保存料、甘味料、香料、酸化防止剤など、さまざまな添加物が書かれていたものが多くあります。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。こはんとできるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬け物(無添加)などです。

田辺の地に来たのが今から約四三年前、一番目の孫が生まれたのを機に娘夫婦と暮らすようになりまして、クリスチャンには絶対

この目には景色は見えませんが、朝、起きて窓を開け、今日の空気を一杯吸い込みます。実に気持ちが良いです。ユックリ朝食をすませ、ラジオを聞きます。

その内に職員さんが掃除に来て下さいます。時間を取らない程度にお話をします。そして又ラジオを聞きながらユックリして

種時き

食べ物は、体の健康だけでなく、精神面や性格形成にも深い影響があります。

この度の震災の放射能漏れ事故で、ただちに健康に影響を及ぼす心配はない」といわれています。

素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのでは、そんな気がするので。

## ユックリと

対にならない」という条件で来たのですが、神様の愛と救いが迫り、約四〇年程に受洗しました。

その後、教会に来た高校生達が、おばあちゃん、おばあちゃん」と親しんでくれる

世話になることを決心しました。「一人で淋しくないですか?」とよく聞かれます。いいえ、淋しくありませんよ。仕事の合間を見て家族が来てくれます。月に一度、牧師先生、四〇年来

減じる。(ルカによる福音書13章4、5節)今から150年ほど前、イギリスの牧師で、名説教家であったスボルジョンは、当時ロンドンで相次いで起きた二つの痛ましい鉄道事故で多くの犠牲者が出たことに関して、このキリストの言葉

えてはならない。一部の人間のように、これが疲弊した文明の産物であるとか、現代の最も驚くべき発見である蒸気の産物であると夢見てはならない。たとい蒸気機関が全く知られることなく、鉄道など全く敷設されていなかったとしても、突然の死や、恐ろしい事故は、何ら変わらず起こり続けたであろう。もしも、ある災難が常に何らかの罪の結果だとしたら、摂理は、二足す二が四というのと

じくらしい単純なものとなるであろう。しかし聖書の教えによると、摂理は深い海であって、人間の知性はそこで泳いだり潜ったりすることはできません。決してその底をつきとめたり、その果てまで行き着くことはできません。私たちが自分に投げかけなくてはならない、最初の問いかけは、こうである。なぜ私も、近いうちに突然断ち切られることがないか? 私たちも災害を

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆って余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

## 『大震災は何故』

紀南教会牧師 上山耕司

も災害は突如として起き、誰彼となく、無差別で襲う。それが身近であればあるほど、私たちは何故かという思いを強く抱く。何故、自分

災害が起こったのか。神がおられるなら何故、罪のない人々がこんなにも多く、犠牲にならねばならなかつたのか。キリストは災害に

のどの人々よりも、罪深い者だっただろうか。決してそうではない。言っておくが、あなたがたも悔い改めなければ、皆同じように

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。こはんとできるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬け物(無添加)などです。

素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのでは、そんな気がするので。

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆って余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに...



# 紀南教会瓦版

発行所  
紀南キリスト教会  
紀南教会瓦版  
編集委員会  
和歌山県田辺市  
下屋敷町80  
TEL/FAX  
0739-25-1191



九州が梅雨に入ったとニュースで聞きました。又、暫くは雨の日が多くなります。体調を崩さないように気を付けましょう。

東日本大震災で被災された方々が、心安く生活を送れる日が来ますように、心を合わせて祈りましょう。神には栄え、地には平和を！ 編集員一同

現在、私は街から少し離れた、グループホームでお世話になっております。此のホームを終の棲家と決めて入所してから、一〇月が来ると三年になります。

1977年、主人の仕事で旧朝鮮(現・韓国)に渡りました。第二次世界大戦が勃発、出征する主人を朝鮮の駅で見送ったのが永久の別れになりました。そして終戦を迎え、子供達と共に、命からがら日本に帰ってきました。それから悲喜交々の生活を送り、

3・11、当たり前の日常生活が突如として中断された。数え切れない人が一瞬のうちに家も、家族も無くし、そして日常を失った。これと同じようなことが6年半前、インドネシアであった。このスマトラ島沖地震は、死者、行方不明者23万人。また、新約聖書の時代、ベスビオス火山の大爆発で、一瞬のうちにポンベの町は廃墟と化した。近年発掘され、その生活振りが明らかにされた。彼らは

て、毎週カレーを作り、皆で食べながら賑やかに楽しい時間を過ごしました。叱つたり、驚かされたり、喜んだりの日々が、忘れられない懐かしい思い出です。今はこの子達はクリスマスチャームホームを築き、信仰の道を歩んでいます。そして三年前、これから緩やかな時間を送ろうと思ひ、グループホームでお

田辺の地に来たのが今から約四三年前、一番目の孫が生まれたのを機に娘夫婦と暮らすようになりまして、「クリスマスチャンには絶対にならない」という条件で来たのですが、神様の愛と救いが迫り、約四〇年程に受洗しました。

その後、教会に来た高校生達が「おばあちゃん、おばあちゃん」と親しんでくれる。牧師先生、四〇年来

いつものように、当たり前の生活に生活していた。そんな彼らを恐ろしい災害は突如として襲った。いつで

## ユックリと

世話になることを決心しました。「一人で淋しくないですか？」とよく聞かれます。いいえ、淋しくありませんよ。仕事の合間を見て家族が来てくれます。月に一度、牧師先生、四〇年来

たちが、このような目に遭わなければならぬのか、何もしないことにはしていない。何故、こんな悲惨な

## 『大震災は何故』

紀南教会牧師 上山耕司

も災害は突如として起き、誰彼となく、無差別で襲う。それが身近であればあるほど、私たちは何故かという思いを強く抱く。何故、自分

災害が起こったのか。神がおられるなら何故、罪のない人々がこんなにも多く、犠牲にならねばならぬのか。キリストは災害に

のどの人々よりも、罪深い者だったと思うのか。決してそうではない。言っておくが、あなたがたも悔い改めなければ、皆同じように

経済成長や科学の進歩によって、どんどん便利な世の中になっていきます。でも、便利さと引き替えに様々な弊害が生まれていて、それが、私たちの体を蝕む要因のひとつにもなっています。ガン、糖尿病、心臓病などの病気、そして、アレルギー、アトピー etc.

要因を特定することはできませんが、排気ガスなど公害のほか、食品や洗剤、抗菌剤や防虫剤、園芸用肥料、住宅建材などに含まれる合成添加物や化学物質などが関係する場合もあるようです。

食べ物は、体の健康だけでなく、精神面や性格形成にも深い影響があるそうです。最近言われている「キレる子供」も、食事が原因という説があり、私もそんな気がしています。たとえば加工食品ですが、カップラーメンなどのインスタント食品でなくて、温めればすぐに食べら

減じる。(ルカによる福音書13章4、5節)今から1500年ほど前、イギリスの牧師で、名説教家であったスボルジョンは、当時ロンドンで相次いで起きた二つの痛ましい鉄道事故で多くの犠牲者が出たことに関して、このキリストの言葉に根拠に、説教で次のように言及している。「さて、兄弟たち、こつした事からは、世界のいかなる時代にも常に起こってきたことである。これを新奇なことと考

えてはならない。一部の人間のように、これが疲弊した文明の産物であるとか、現代の最も驚くべき発見である蒸気の産物であると夢見てはならない。たとい蒸気機関が全く知られることなく、鉄道など全く敷設されていなかったとしても、突然の死や、恐ろしい事故は、何ら変わらず起こり続けたであろう。もしも、ある災難が常に何らかの罪の結果だとしたら、摂理は、二足す二が四というのと同

じくらしい単純なものとなるであろう。しかし聖書の教えによると、摂理は深い海であって、人間の知性はそこで泳いだり潜ったりすることはできません。決してその底をつきとめたり、その果てまで行き着くことはできない。私たちが自分に投げかけなくてはならない、最初の問いかけは、こうである。なぜ私も、近いうちに突然断ち切られることがないか云い切れるだろうか? 私たちも災害を

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆って余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。



れる冷凍食品、レトルト食品など、様々な加工品が沢山売られています。ラベルに書いてある表示を見てみると、素材名のほかに、着色料、酸味料、保存料、甘味料、香料、酸化防止剤など、さまざまな添加物が書かれていたものが多くあります。

この度の震災の放射能漏れ事故で、ただちに健康に影響を及ぼす心配はない」といわれています。そのため、つい油断しがちなのですが、認可されている添加物のなかにも、発がん性を疑ったほうがよいものがあるようです。人間が開発した便利なものには、(必ずしもそうではないと思いますが)何かしらの副作用がある気がします。



## 今、気をつけたいこと

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。こはんできるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬け物(無添加)などです。ね。

自然の恵み、大地の恵みは、神様の恵みだと思えます。体に入れるのは、できるだけ自然のものにしたいものです。素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、そんな気がするので。つくし

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに...

# 紀南教会瓦版

発行所  
紀南キリスト教会  
紀南教会瓦版  
編集委員会  
和歌山県田辺市  
下屋敷町80  
TEL/FAX  
0739-25-1191



九州が梅雨に入ったとニュースで聞きました。又、暫くは雨の日が多くなります。体調を崩さないように気を付けましょう。

東日本大震災で被災された方々が、心安く生活を送れる日が来ますように、心を合わせて祈りましょう。神には栄え、地には平和を！ 編集員一同

現在、私は街から少し離れた、グループホームでお世話になっております。此のホームを終の棲家と決めて入所してから、一〇月が来ると三年になります。

1977年、主人の仕事で旧朝鮮(現・韓国)に渡りました。第二次世界大戦が勃発、出征する主人を朝鮮の駅で見送ったのが永久の別れになりました。そして終戦を迎え、子供達と共に、命からがら日本に帰ってきました。それから悲喜交々の生活を送り、

3・11、当たり前の日常生活が突如として中断された。数え切れない人が一瞬のうちに家も、家族も無くし、そして日常を失った。これと同じようなことが6年半前、インドネシアであった。このスマトラ島沖地震は、死者、行方不明者23万人。また、新約聖書の時代、ベスビオス火山の大爆発で、一瞬のうちにポンベイの町は廃墟と化した。近年発掘され、その生活振りが明らかにされた。彼らは

て、毎週カレーを作り、皆で食べながら賑やかに楽しい時間を過ごしました。叱つたり、驚かされたり、喜んだりの日々が、忘れられない懐かしい思い出です。今はこの子達はクリスマスチャームホームを築き、信仰の道歩んでいきます。そして三年前、これから緩やかな時間を送ろうと思ひ、グループホームでお

田辺の地に来たのが今から約四三年前、一番目の孫が生まれたのを機に娘夫婦と暮らすようになりまして、「クリスマスチャンには絶対にならない」という条件で来たのですが、神様の愛と救いが迫り、約四〇年程に受洗しました。

その後、教会に来た高校生達が「おばあちゃん、おばあちゃん」と親しんでくれるので、このように、当たり前の生活に慣れたら、神様の愛と救いが迫り、約四〇年程に受洗しました。

## ユツクリと

世話になることを決心しました。「一人で淋しくないですか?」とよく聞かれます。いいえ、淋しくありませんよ。仕事の合間を見て家族が来てくれます。月に一度、牧師先生、四〇年来

いつものように、当たり前の生活に慣れたら、神様の愛と救いが迫り、約四〇年程に受洗しました。

## 『大震災は何故』

紀南教会牧師 上山耕司

も災害は突如として起き、誰彼となく、無差別で襲う。それが身近であればあるほど、私たちは何故かという思いを強く抱く。何故、自分

災害が起こったのか。神が何故、こんなにも多く、犠牲にならねばならなかったのか。キリストは災害に

のどの人々よりも、罪深い者だと思つたのか。決してそうではない。言つておくが、あなたがたも悔い改めなければ、皆同じように

経済成長や科学の進歩によって、どんどん便利な世の中になっていきます。でも、便利さと引き替えに様々な弊害が生まれていて、それが、私たちの体を蝕む要因のひとつにもなっています。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。これは、できるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに・・・。



減じる。(ルカによる福音書13章4、5節)今から150年ほど前、イギリスの牧師で、名説教家であったスボルジョンは、当時ロンドンで相次いで起きた二つの痛ましい鉄道事故で多くの犠牲者が出たことに関して、このキリストの言葉

を根拠に、説教で次のように言及している。「さて、兄弟たち。こつした事からは、世界のいかなる時代にも常に起こってきたことである。これを新奇なことと考



前、体調を崩し自室に食事を運んで貰って一人で食べたことがありません。実に味気なかつたです。皆さんとは挨拶する程度でお話はしませんが、それでも皆で一緒に食事をすることは良いことだと思ひました。トイレに行く時も往復三〇分近くかかります。食事の時の歩行とトイレの時の歩行はとも良いリハビリになっています。何でもユツクリです。ユツクリが良いです。私に与えられている人生の日数は分かりませんが、ユツクリ・ユツクリ時間と日を重ねて行けたらと思つています。我が身を振り返り、全てが神のご計画の下、御手の中の出来事と感謝しています。

種時き

えてはならない。一部の人のように、これが疲弊した文明の産物であるとか、現代の最も驚くべき発見である蒸気の産物であると夢見てはならない。たとい蒸気機関が全く知られることなく、鉄道など全く敷設されていなかったとしても、突然の死や、恐ろしい事故は、何ら変わらず起こり続けたであろう。もしも、ある災難が常に何らかの罪の結果だとしたら、摂理は、二足す二が四というのと同

れる冷凍食品、レトルト食品など、様々な加工品が沢山売られています。ラベルに書いてある表示を見てみると、素材名のほかに、着色料、酸味料、保存料、甘味料、香料、酸化防止剤など、さまざまな添加物が書かれていたものが多くあります。

この度の震災の放射能漏れ事故で、ただちに健康に影響を及ぼす心配はない」といわれています。そのため、つい油断しがちなのですが、認可されている添加物のなかにも、発がん性を疑ったほうがよいものがあるようです。人間が開発した便利なものには、(必ずしもそうではない)と思ひますが、何かしらの副作用がある気がします。

つくし

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆つて余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに・・・。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。これは、できるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。

素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、...、そんな気がするので。

つくし

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆つて余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに・・・。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。これは、できるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。

素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、...、そんな気がするので。

つくし

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆つて余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに・・・。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。これは、できるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。

素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、...、そんな気がするので。

つくし

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆つて余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに・・・。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。これは、できるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。

素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、...、そんな気がするので。

つくし

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆つて余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに・・・。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。これは、できるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。

素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、...、そんな気がするので。

つくし

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆つて余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに・・・。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。これは、できるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。

素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、...、そんな気がするので。

つくし

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆つて余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに・・・。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。これは、できるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。

素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、...、そんな気がするので。

つくし

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆つて余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに・・・。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。これは、できるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。

素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、...、そんな気がするので。

つくし

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆つて余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに・・・。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。これは、できるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。

素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、...、そんな気がするので。

つくし

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆つて余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに・・・。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。これは、できるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。

素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、...、そんな気がするので。

つくし

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆つて余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに・・・。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。これは、できるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。

素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、...、そんな気がするので。

つくし

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆つて余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに・・・。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。これは、できるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。

素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、...、そんな気がするので。

つくし

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆つて余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに・・・。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。これは、できるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。

素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、...、そんな気がするので。

つくし

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆つて余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに・・・。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。これは、できるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。

素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、...、そんな気がするので。

つくし

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆つて余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに・・・。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。これは、できるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。

素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、...、そんな気がするので。

つくし

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆つて余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに・・・。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。これは、できるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。

素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、...、そんな気がするので。

# 紀南教会瓦版

発行所  
紀南キリスト教会  
紀南教会瓦版  
編集委員会  
和歌山県田辺市  
下屋敷町80  
TEL/FAX  
0739-25-1191



九州が梅雨に入ったとニュースで聞きました。又、暫くは雨の日が多くなります。体調を崩さないように気を付けましょう。

東日本大震災で被災された方々が、心安く生活が送れる日が来ますように、心を合わせて祈りましょう。神には栄え、地には平和を！ 編集員一同

現在、私は街から少し離れた、グループホームでお世話になっております。此のホームを終の棲家と決めて入所してから、一〇月が来ると三年になります。

1977年、主人の仕事で旧朝鮮(現・韓国)に渡りました。第二次世界大戦が勃発、出征する主人を朝鮮の駅で見送ったのが永久の別れになりました。そして終戦を迎え、子供達と共に、命からがら日本に帰ってきました。それから悲喜交々の生活を送り、

3・11、当たり前の日常生活が突如として中断された。数え切れない人が一瞬のうちに家も、家族も無くし、そして日常を失った。これと同じようなことが6年半前、インドネシアであった。このスマトラ島沖地震は、死者、行方不明者23万人。また、新約聖書の時代、ベスビオス火山の大爆発で、一瞬のうちにポンベの町は廃墟と化した。近年発掘され、その生活振りが明らかにされた。彼らは

前、体調を崩し自室に食事を運んで貰って一人で食べたことがありません。実に味気なかつたです。皆さんとは挨拶する程度でお話はしませんが、それでも皆で一緒に食事をすることは良いことだと思えました。トイレに行く時も往復三〇分近くかかります。食事の時の歩行とトイレの時の歩行はとも良いリハビリになっています。何でもユックリです。ユックリが良いです。私に与えられている人生の日数は分かりませんが、ユックリ・ユックリ時間と日を重ねて行けたらと思っています。我が身を振り返り、全てが神のご計画の下、御手の中の出来事と感謝しています。

経済成長や科学の進歩によって、どんどん便利な世の中になっています。でも、便利さと引き替えに様々な弊害が生まれていて、それが、私たちの体を蝕む要因のひとつにもなっています。ガン、糖尿病、心臓病などの病気、そして、アレルギー、アトピー etc.

この度の震災の放射能漏れ事故で、ただちに健康に影響を及ぼす心配はない」といわれています。そのため、つい油断しがちなのですが、認可されている添加物のなかにも、発がん性を疑ったほうがよいものがあるようです。人間が開発した便利なものには、(必ずしもそうではない)と思えますが、何かしらの副作用がある気がします。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。こはんできるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。

この内には景色は見えますが、朝、起きて窓を開け、今日の空気を一杯吸い込みます。実に気持ちが良いです。ユックリ朝食をすませ、ラジオを聞きます。その内に職員さんが掃除に来て下さいます。時間を取らない程度にお話をします。そして又ラジオを聞きながらユックリしていると、そろそろ昼食の時間です。食堂まで歩行器でユックリ行きます。食事の時、皆さんと一緒に食べるのが気に入っています。

要因を特定することはできませんが、排気ガスなど公害のほか、食品や洗剤、抗菌剤や防虫剤、園芸用肥料、住宅建材などに含まれる合成添加物や化学物質などが関係する場合もあるようです。

食べ物は、体の健康だけでなく、精神面や性格形成にも深い影響があるそうです。最近言われている「キレる子供」も、食事が原因という説があり、私もそんな気がしています。たとえば加工食品ですが、カップラーメンなどのインスタント食品でなくて、温めればすぐに食べられるような、一部の人々のように、これが疲弊した文明の産物であるとか、現代の最も驚くべき発見である蒸気の産物であると夢見てはならない。たとい蒸気機関が全く知られることなく、鉄道など全く敷設されていなかったとしても、突然の死や、恐ろしい事故は、何ら変わらず起こり続けたであろう。もしも、あの災難が常に何らかの罪の結果だとしたら、摂理は、二足す二が四というのと同等の冷凍食品、レトルト食品など、様々な加工品が沢山売られています。ラベルに書いてある表示を見てみると、素材名のほかに、着色料、酸味料、保存料、甘味料、香料、酸化防止剤など、さまざまな添加物が書かれていたものが多くあります。

自然の恵み、大地の恵みは、神様の恵みだと思えます。体に入れるのは、できるだけ自然のものにしたいものです。素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、...、そんな気がするので。つくし

## ユックリと

対にならない」という条件で来たのですが、神様の愛と救いが迫り、約四〇年程に受洗しました。

その後、教会に来た高校生達が、おばあちゃん、おばあちゃん」と親しんでくれる。

世話になることを決心しました。「一人で淋しくないですか?」とよく聞かれます。いいえ、淋しくありませんよ。仕事の合間を見て家族が来てくれます。月に一度、牧師先生、四〇年来

減じる。(ルカによる福音書13章4、5節)今から150年ほど前、イギリスの牧師で、名説教家であったスボルジョンは、当時ロンドンで相次いで起きた二つの痛ましい鉄道事故で多くの犠牲者が出たことに関して、このキリストの言葉

を根拠に、説教で次のように言及している。「さて、兄弟たち。こつした事からは、世界のいかなる時代にも常に起こってきたことである。これを新奇なことと考

えてはならない。一部の人のように、これが疲弊した文明の産物であるとか、現代の最も驚くべき発見である蒸気の産物であると夢見てはならない。たとい蒸気機関が全く知られることなく、鉄道など全く敷設されていなかったとしても、突然の死や、恐ろしい事故は、何ら変わらず起こり続けたであろう。もしも、あの災難が常に何らかの罪の結果だとしたら、摂理は、二足す二が四というのと同等

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。こはんできるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。

## 『大震災は何故』

紀南教会牧師 上山耕司

も災害は突如として起き、誰彼となく、無差別で襲う。それが身近であればあるほど、私たちは何故かという思いを強く抱く。何故、自分

災害が起こったのか。神がおられるなら何故、罪のない人々がこんなにも多く、犠牲にならねばならなかつたのか。キリストは災害に

のどの人々よりも、罪深い者だつたと思つたのか。決してそうではない。言つておくが、あなたがたも悔い改めなければ、皆同じように

じくらしい単純なものとなるであろう。しかし聖書の教えによると、摂理は深い海であつて、人間の知性はそこで泳いだり潜ったりすることはできません。決してその底をつきとめたり、その果てまで行き着くことはできません。私たちが自分に投げかけなくてはならない、最初の問いかけは、こつである。なぜ私も、近いうちに突然断ち切られることがないか云い切れるだろうか? 私たちも災害を

前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆つて余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに...

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。こはんできるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。



# 紀南教会瓦版

発行所  
紀南キリスト教会  
紀南教会瓦版  
編集委員会  
和歌山県田辺市  
下屋敷町80  
TEL/FAX  
0739-25-1191



九州が梅雨に入ったとニュースで聞きました。又、暫くは雨の日が多くなります。体調を崩さないように気を付けましょう。

東日本大震災で被災された方々が、心安く生活を送れる日が来ますように、心を合わせて祈りましょう。神には栄え、地には平和を！ 編集員一同

現在、私は街から少し離れた、グループホームでお世話になっております。此のホームを終の棲家と決めて入所してから、一〇月が来ると三年になります。

1977年、主人の仕事で旧朝鮮(現・韓国)に渡りました。第二次世界大戦が勃発、出征する主人を朝鮮の駅で見送ったのが永久の別れになりました。そして終戦を迎え、子供達と共に、命からがら日本に帰ってきました。それから悲喜交々の生活を送り、

3・11、当たり前の日常生活が突如として中断された。数え切れない人が一瞬のうちに家も、家族も無くし、そして日常を失った。これと同じようなことが6年半前、インドネシアであった。このスマトラ島沖地震は、死者、行方不明者23万人。また、新約聖書の時代、ベスビオス火山の大爆発で、一瞬のうちにポンベの町は廃墟と化した。近年発掘され、その生活振りが明らかにされた。彼らは

て、毎週カレーを作り、皆で食べながら賑やかに楽しい時間を過ごしました。叱つたり、驚かされたり、喜んだりの日々が、忘れられない懐かしい思い出です。今はこの子達はクリスマスチャームホームを築き、信仰の道を歩んでいます。そして三年前、これから緩やかな時間を送ろうと思ひ、グループホームでお

田辺の地に来たのが今から約四三年前、一番目の孫が生まれたのを機に娘夫婦と暮らすようになりまして、「クリスマスチャンには絶対にならない」という条件で来たのですが、神様の愛と救いが迫り、約四〇年程に受洗しました。

その後、教会に来た高校生達が「おばあちゃん、おばあちゃん」と親しんでくれるので、このように、当たり前の生活に慣れた。数え切れない人が一瞬のうちに家も、家族も無くし、そして日常を失った。これと同じようなことが6年半前、インドネシアであった。このスマトラ島沖地震は、死者、行方不明者23万人。また、新約聖書の時代、ベスビオス火山の大爆発で、一瞬のうちにポンベの町は廃墟と化した。近年発掘され、その生活振りが明らかにされた。彼らは

## ユックリと

世話になることを決心しました。「一人で淋しくないですか？」とよく聞かれます。いいえ、淋しくありませんよ。仕事の合間を見て家族が来てくれます。月に一度、牧師先生、四〇年来の友人が、このように遣わなければならぬのか、何もないことはしていないのに。何故、こんな悲惨な

も災害は突如として起き、誰彼となく、無差別で襲う。それが身近であればあるほど、私たちは何故かという思いを強く抱く。何故、自分

## 『大震災は何故』

紀南教会牧師 上山耕司

災害が起こったのか。神が何故、こんなにも多く、犠牲にならねばならぬのか。キリストは災害に

前、体調を崩し自室に食事を運んで貰って一人で食べたことがありません。実に味気なかつたです。皆さんとは挨拶する程度でお話はしません。それでも皆で一緒に食事をすることは良いことだと思ひました。トイレに行く時も往復三〇分近くかかります。食事の時の歩行とトイレの時の歩行はとも良いリハビリになっています。何でもユックリです。ユックリが良いです。私に与えられている人生の日数は分かりませんが、ユックリ・ユックリ時間と日を重ねて行けたらと思ひます。我が身を振り返り、全てが神のご計画の下、御手の中の出来事と感謝しています。



種時き

減じる。(ルカによる福音書13章4、5節)今から150年ほど前、イギリスの牧師で、名説教家であったスボルジョンは、当時ロンドンで相次いで起きた二つの痛ましい鉄道事故で多くの犠牲者が出たことに関して、このキリストの言葉に根拠に、説教で次のように言及している。「さて、兄弟たち。こつした事からは、世界のいかなる時代にも常に起こってきたことである。これを新奇なことと考

経済成長や科学の進歩によって、どんどん便利な世の中になっていきます。でも、便利さと引き替えに様々な弊害が生まれていて、それが、私たちの体を蝕む要因のひとつにもなっています。ガン、糖尿病、心臓病などの病気、そして、アレルギー、アトピー etc. 要因を特定することはできませんが、排気ガスなど公害のほか、食品や洗剤、抗菌剤や防虫剤、園芸用肥料、住宅建材などに含まれる合成添加物や化学物質などが関係する場合もあるようです。食べ物、体の健康だけでなく、精神面や性格形成にも深い影響があるそうです。最近言われている「キレる子供」も、食事が原因という説があり、私もそんな気がしています。たとえば加工食品ですが、カップラーメンなどのインスタント食品でなくて、温めればすぐに食べられるようになっていない。一部の人間のように、これが疲弊した文明の産物であるとか、現代の最も驚くべき発見である蒸気の産物であると夢見てはならない。たとい蒸気機関が全く知られることなく、鉄道など全く敷設されていなかったとしても、突然の死や、恐ろしい事故は、何ら変わらず起こり続けたであろう。もしも、ある災難が常に何らかの罪の結果だとしたら、摂理は、二足す二が四というのと同等

れる冷凍食品、レトルト食品など、様々な加工品が沢山売られています。ラベルに書いてある表示を見てみると、素材名のほかに、着色料、酸味料、保存料、甘味料、香料、酸化防止剤など、さまざまな添加物が書かれていたものが多くあります。この度の震災の放射能漏れ事故で、ただちに健康に影響を及ぼす心配はない」といわれています。そのため、つい油断しがちなのですが、認可されている添加物のなかにも、発がん性を疑ったほうがよいものがあるようです。人間が開発した便利なものには、(必ずしもそうではないと思いますが)何かしらの副作用がある気がします。

## 今、気をつけたいこと

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに・・・。

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。こはんとできるだけ農薬や肥料を使っていないもの(に、天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬け物(無添加)などです。ね。



素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、...、そんな気がするので。つくし



# 紀南教会瓦版

発行所  
紀南キリスト教会  
紀南教会瓦版  
編集委員会  
和歌山県田辺市  
下屋敷町80  
TEL/FAX  
0739-25-1191



九州が梅雨に入ったとニュースで聞きました。又、暫くは雨の日が多くなります。体調を崩さないように気を付けましょう。

東日本大震災で被災された方々が、心安く生活が送れる日が来ますように、心を合わせて祈りましょう。神には栄え、地には平和を！ 編集員一同

現在、私は街から少し離れた、グループホームでお世話になっております。此のホームを終の棲家と決めて入所してから、一〇月が来ると三年になります。

1977年、主人の仕事で旧朝鮮(現・韓国)に渡りました。第二次世界大戦が勃発、出征する主人を朝鮮の駅で見送ったのが永久の別れになりました。そして終戦を迎え、子供達と共に、命からがら日本に帰ってきました。それから悲喜交々の生活を送り、

3・11、当たり前の日常生活が突如として中断された。数え切れない人が一瞬のうちに家も、家族も無くし、そして日常を失った。これと同じようなことが6年半前、インドネシアであった。このスマトラ島沖地震は、死者、行方不明者23万人。また、新約聖書の時代、ベスビオス火山の大爆発で、一瞬のうちにポンベの町は廃墟と化した。近年発掘され、その生活振りが明らかにされた。彼らは

て、毎週カレーを作り、皆で食べながら賑やかに楽しい時間を過ごしました。叱つたり、驚かされたり、喜んだりの日々が、忘れられない懐かしい思い出です。今はこの子達はクリスマスチャームホームを築き、信仰の道を歩んでいます。そして三年前、これから緩やかな時間を送ろうと思ひ、グループホームでお

田辺の地に来たのが今から約四三年前、一番目の孫が生まれたのを機に娘夫婦と暮らすようになりまして、「クリスマスちゃんには絶対にならない」という条件で来たのですが、神様の愛と救いが迫り、約四〇年程に受洗しました。その後、教会に来た高校生達が「おばあちゃん、おばあちゃん」と親しんでくれる

## ユックリと

対にならない」という条件で来たのですが、神様の愛と救いが迫り、約四〇年程に受洗しました。その後、教会に来た高校生達が「おばあちゃん、おばあちゃん」と親しんでくれる

いつものように、当たり前の生活に生活していた。そんな彼らを恐ろしい災害は突如として襲った。いつで

## 『大震災は何故』

紀南教会牧師 上山耕司

も災害は突如として起き、誰彼となく、無差別で襲う。それが身近であればあるほど、私たちは何故かという思いを強く抱く。何故、自分

災害が起こったのか。神が何故、こんなにも多く、犠牲にならねばならなかったのか。キリストは災害に

たが、このように目に遭わなければならぬのか、何も悪いことはしていないのに。何故、こんな悲惨な

のどの人々よりも、罪深い者だと思つたのか。決してそうではない。言つておくが、あなたがたも悔い改めなければ、皆同じように

前、体調を崩し自室に食事を運んで貰って一人で食べたことがありません。実に味気なかつたです。皆さんとは挨拶する程度でお話はしません。それでも皆で一緒に食事をすることは良いことだと思ひました。トイレに行く時も往復三〇分近くかかります。食事の時の歩行とトイレの時の歩行はとも良いリハビリになっています。何でもユックリです。ユックリが良いです。私に与えられている人生の日数は分かりませんが、ユックリ・ユックリ時間と日を重ねて行けたらと思つています。我が身を振り返り、全てが神のご計画の下、御手の中の出来事と感謝しています。



減じる。(ルカによる福音書13章4、5節)今から150年ほど前、イギリスの牧師で、名説教家であったスボルジョンは、当時ロンドンで相次いで起きた二つの痛ましい鉄道事故で多くの犠牲者が出たことに関して、このキリストの言葉に根拠に、説教で次のように言及している。「さて、兄弟たち。こつした事からは、世界のいかなる時代にも常に起こってきたことである。これを新奇なことと考

経済成長や科学の進歩によって、どんどん便利な世の中になっていきます。でも、便利さと引き替えに様々な弊害が生まれていて、それが、私たちの体を蝕む要因のひとつにもなっています。ガン、糖尿病、心臓病などの病気、そして、アレルギー、アトピー etc. 要因を特定することはできませんが、排気ガスなど公害のほか、食品や洗剤、抗菌剤や防虫剤、園芸用肥料、住宅建材などに含まれる合成添加物や化学物質などが関係する場合もあるようです。

食べ物は、体の健康だけでなく、精神面や性格形成にも深い影響があるそうです。最近言われている「キ

えてはならない。一部の人間のように、これが疲弊した文明の産物であるとか、現代の最も驚くべき発見である蒸気の産物であると夢見てはならない。たとい蒸気機関が全く知られることなく、鉄道など全く敷設されていなかったとしても、突然の死や、恐ろしい事故は、何ら変わらず起こり続けたであろう。もしも、ある災難が常に何らかの罪の結果だとしたら、摂理は、二足す二が四というのと同

## 今、気をつけたいこと

れる冷凍食品、レトルト食品など、様々な加工品が沢山売られています。ラベルに書いてある表示を見てみると、素材名のほかに、着色料、酸味料、保存料、甘味料、香料、酸化防止剤など、さまざまな添加物が書かれていたものが多くあります。この度の震災の放射能漏れ事故で、ただちに健康に影響を及ぼす心配はない」といわれています。そのため、つい油断しがちなのですが、認可されている添加物のなかにも、発がん性を疑ったほうがよいものがあるようです。人間が開発した便利なものには、(必ずしもそうではないと思いますが)何かしらの副作用がある気がします。

じくらしい単純なものとなるであろう。しかし聖書の教えによると、摂理は深い海であって、人間の知性はそこで泳いだり潜ったりすることはできません。決してその底をつきとめたり、その果てまで行き着くことはできません。私たちが自分に投げかけなくてはならない、最初の問いかけは、こうである。なぜ私も、近いうちに突然断ち切られることがないか云い切れるだろうか? 私たちも災害を

健康な心身を作るには、健康番組などにまどわされず、素朴な昔ながらの粗食がいいようです。こはんできるだけ農薬や肥料を使っていないもの(天然醸造の味噌、季節の野菜、魚介、海藻、いも類、豆類、漬物(無添加)などです。ね。

自然の恵み、大地の恵みは、神様の恵みだと思ひます。体に入れるのは、できるだけ自然のものにしたいものです。素人のくせに、いろいろやらそうなることを書いてしまったのですが、未曾有の大震災が起こり、今、生かされている者として、食事だけでなく身の回りの環境についても、今が考え直すときなのは、そんな気がするので。つくし



前にして、この問いかけを自らにすべきである。それと同時に、災害で苦しむ方々が忍耐強く復興を成し遂げられるように祈り、支え、やがていつの日か深い神の摂理の中で、この災害や死を覆つて余りある祝福に至ることを待ち望もうではないか。

次回三十一号は、八月二八日(第四日曜日)発行予定です。お楽しみに...